

洪水浸水想定区域等(家屋倒壊等氾濫想定区域)とは?

近年、想定を超える大規模な河川の氾濫、水害の激甚化などから水防法が改正され、福島川水系及び本城川水系、市木川水系の河川において「洪水浸水想定区域図」が公表されました。これは水防法の規定により指定された区域において、想定し得る最大規模の降雨に伴う洪水による河川が氾濫した場合の浸水の状況を予測したものです。

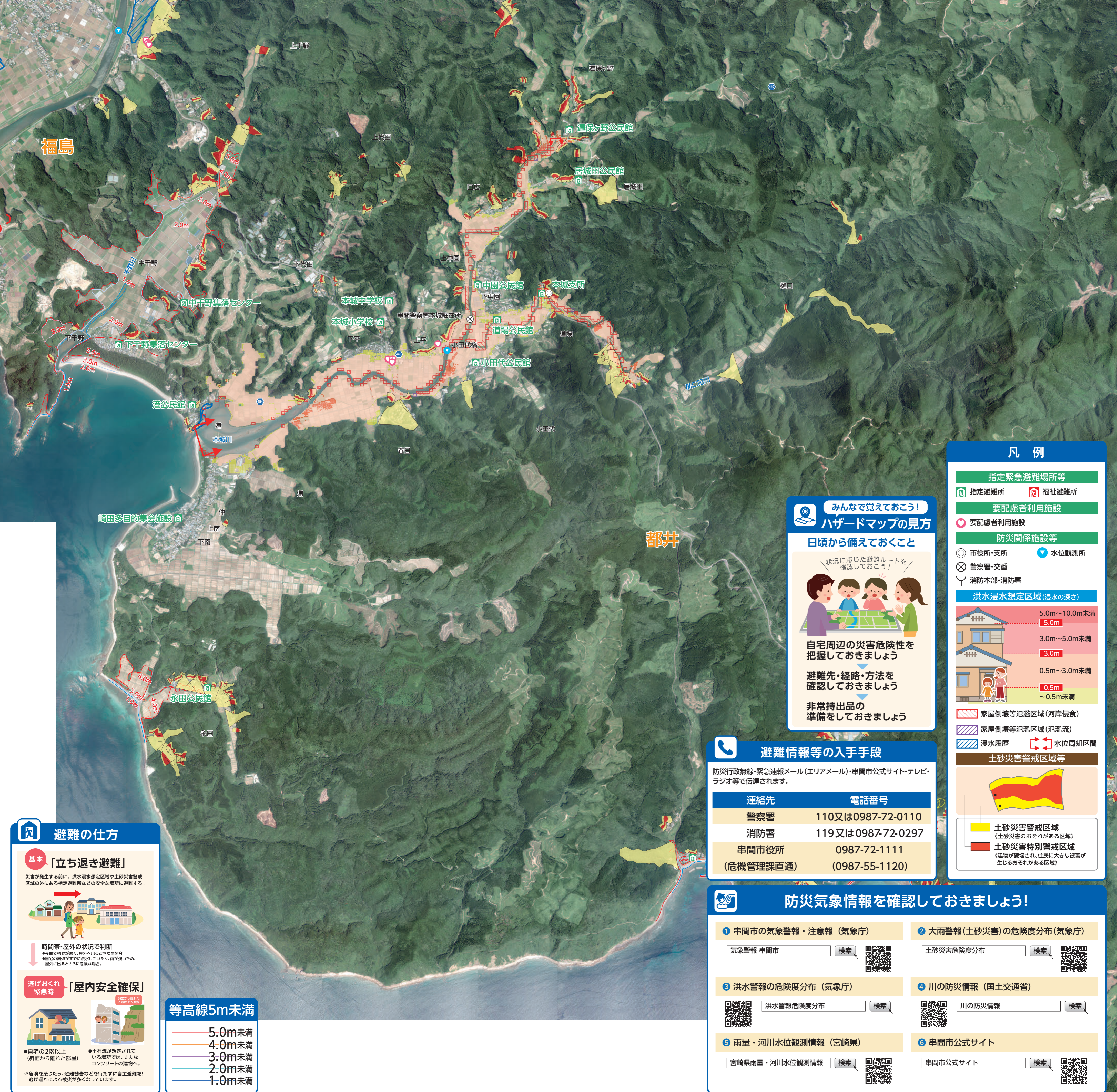
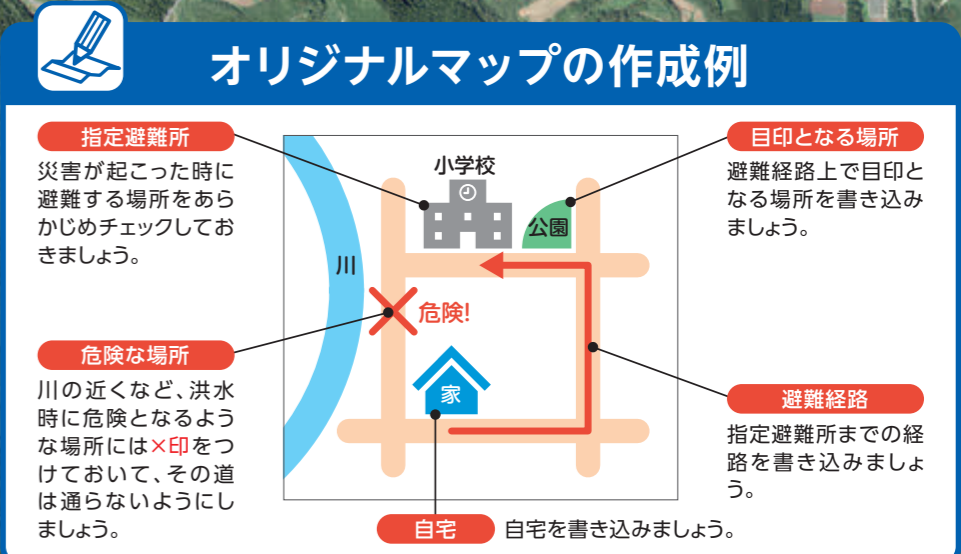
河川名	想定最大規模(前提となる降雨)	宮崎県告示番号(指定年月日)
本城川水系本城川	944.6mm (24時間)	宮崎県告示第237号(平成31年3月28日) 家屋倒壊等(河岸浸食・氾濫流)

浸水想定区域等は、指定されていない区域でも浸水する場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。

避難に関する情報

避難に関する防災情報は、テレビ・ラジオや広報車などで避難の呼びかけをします。水害の危険性がある場合、速やかに避難してください。

どんな情報が出る?	誰が? 誰が?	何をしたらいい?	本城川
警戒レベル5 災害発生情報	市内で大規模な災害が発生している時	命を守る最善の行動 ※避難所へ避難することが危険だと判断した場合は、近くの安全な場所や自宅のより安全なところへ移動する行動をとりましょう。	小田代橋
警戒レベル4 避難指示(緊急)	重ねて避難を促す必要がある時	避難していない人は ただちに避難	氾濫危険水位 2.87m
避難勧告	避難が必要な時	全員避難	
警戒レベル3 避難準備・高齢者等 避難開始	警報発表の時 や、高齢者等は 避難を始める必要 がある時	高齢者等の移動に時間がかかる人 ⇒避難を開始 その他の人⇒避難の準備	避難判断水位 2.30m
警戒レベル2	注意報発表の時	避難場所や避難袋の確認	
警戒レベル1	気象庁 近々警報が出る かもしれない時	災害への心構え	



凡例

- 指定緊急避難場所等
 - 指定避難所
 - 福祉避難所
- 要配慮者利用施設
 - 要配慮者利用施設
- 防災関係施設等
 - 市役所・支所
 - 警察署・交番
 - 消防本部・消防署
 - 水位観測所
- 洪水浸水想定区域(浸水の深さ)
 - 5.0m~10.0m未満
 - 5.0m
 - 3.0m~5.0m未満
 - 3.0m
 - 0.5m~3.0m未満
 - 0.5m
 - ~0.5m未満
- 家屋倒壊等氾濫区域(河岸浸食)
- 家屋倒壊等氾濫区域(氾濫流)
- 浸水履歴
- 水位周知区間
- 土砂災害警戒区域等
 - 土砂災害警戒区域(土砂災害の恐れがある区域)
 - 土砂災害特別警戒区域(建物や家屋が壊れ、住民に大きな被害が生じおそれがある区域)

みんなで覚えておこう!
ハザードマップの見方

日頃から備えておくこと

状況に応じた避難ルートを確認しておこう!

自宅周辺の災害危険性を把握しておきましょう

避難先・経路・方法を確認しておきましょう

非常持出品の準備をしておきましょう

避難情報等の入手手段

防災行政無線・緊急速報メール(エリアメール)・串間市公式サイト・テレビ・ラジオ等で伝達されます。

連絡先	電話番号
警察署	110又は0987-72-0110
消防署	119又は0987-72-0297
串間市役所 (危機管理課直通)	0987-72-1111 (0987-55-1120)

避難の仕方

基本 「立ち退き避難」

災害が発生する前に、洪水浸水想定区域や土砂災害警戒区域の外にある指定避難所などの安全な場所に避難する。

時間帯・屋外の状況で判断

- 夜間で視界が悪く、屋外へ出るとうるさい場合、●窓の開放がすでにできているため、雨が多いため、●雨の降り始めに避難する。

逃げおくれ 緊急時 「屋内安全確保」

●自宅の2階以上(斜面から離れた部屋)

●土砂流が想定されている場所では、丈夫なコンクリートの建物へ。

●避難を促したら、避難動員などを待たずに自主避難を!逃げ遅れによる被災が多くなっています。



防災気象情報を確認しておきましょう!

- 串間市の気象警報・注意報(気象庁)
 - 気象警報 串間市
 - 検索
 - QRコード
- 大雨警報(土砂災害)の危険度分布(気象庁)
 - 土砂災害危険度分布
 - 検索
 - QRコード
- 洪水警報の危険度分布(気象庁)
 - 洪水警報危険度分布
 - 検索
 - QRコード
- 川の防災情報(国土交通省)
 - 川の防災情報
 - 検索
 - QRコード
- 雨量・河川水位観測情報(宮崎県)
 - 宮崎県雨量・河川水位観測情報
 - 検索
 - QRコード
- 串間市公式サイト
 - 串間市公式サイト
 - 検索
 - QRコード